

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2021年4月号

臨時市議会・福間議員が質疑

4月23日、令和3年度大分市一般会計補正予算(案)として、子育て世帯生活支援特別給付金7億4,000万円、新型コロナウイルス検査体制強化事業1億5000万円、補正総額8億9,000万円が提案されました。

低所得世帯への給付金拡充を要望



(壇上にて)

福間議員—①子育て世帯生活支援特別給付金について、今回、給付額はこれまでの第1子5万円、第2子以降3万円から、第2子以降も一律5万円に増やすと支給額の拡大、

また所得の低い2人親世帯まで拡大する。市の評価は。②この支援を対象世帯に確実に届けることが、自治体の責務、申請に基づき支給する対象世帯への周知方法を含めた対応は。

子どもすこやか部長—「低所得の一人親世帯等の生活の安定と子どもの健やかな成長に寄与する。児童手当支給世帯にもれなく周知する、申請なしでの対応も国で検討されている」などと答弁しました。

福間—新型コロナウイルス感染症の影響をうけて、厳しい生活を余儀なくされている住民税非課税の高齢者世帯、障害者世帯、生活苦で学業もままならない状況にある学生などに、生活支援給付金等の支援拡充を強く要望しました。

新型コロナ、深刻な感染拡大の『第4波』

検査体制の抜本的強化を



(再質問する福間)

福間議員—大分駅府内中央口広場に、(仮称)おおいた抗原検査センターを設置し、県外から大分市への移動者で同意が得られた者に対し、抗原検査を実施する経費として、事業費1億5000万円が計上されている。新型コロナウイルス感染症の水際で抑え込む対策を独自で措置したことは評価するが、今の実態からするならあまりにも規模が小さいと指摘し、対象者は県外からの来訪者に限らず、市外からの来訪者、日帰りの来訪者、市民も希望すれば、抗原検査ができるようにすること。

福祉保健部長—「市民も、県外出張から帰る人などは検査の対象にする」などと答弁。

福間議員—現在、新型コロナウイルスは、感染力の強い変異株に置き換わり、新たな危機を招いている。「コロナ封じ込めのための大規模検査」の実施を強く求めました。

川添橋・ガードパイプ塗り替えを

4月5日、つるさき陽光台自治会のみなさんと川添橋のさび付いたガードパイプの改修を求め、要望書を提出しました。堤県議も同席しました。



(県議会・応接室にて)

住民らは「腐食したガードパイプは、耐久性に問題がなければ、防錆加工し、塗り替えをすること」を求めました。県・道路保全課は「ガードパイプがさび付

いていることは認識している。今後の対策について検討する」との回答でした。同日大分市へは、児童公園の階段手すりの設置の要望をおこないました。また児童公園遊具の新調について、子供会関係者からの要望を聞く会も開き、30日に、大分市公園緑地課に申し入れをする予定です。

つぎはぎ道路の改修を申し入れ



コンパルホール北側市道は、電線地中化工事のため、道路はつぎはぎに。運転しづらいとの声が寄せられ、改修を申し入れ、今年度トキハ側から舗装工事が始まります。

●竹田市議選支援—上島弘二氏は、2期目の当選を果たしました。街頭宣伝・訪問活動に集中しました。

掲示板が新しくなりました

フェンスに掲示板を設置。

→掲示板の前で笑顔の橘さん



生活相談日誌—●高齢単身女性や4人家族の公営住宅入居 ●協議離婚 ●生活困窮生活給付金申請 ●国保税・市民税の分割納付、などの相談に対応しました。

暮らしや地域の要望をお寄せください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

